

発表番号	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="276 78 499 174">チーム名</td> <td data-bbox="499 78 1460 174">チーム Fu～みん</td> </tr> </table>	チーム名	チーム Fu～みん
チーム名	チーム Fu～みん		
I - 4	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="276 224 499 358">担当者 【所属名】</td> <td data-bbox="499 224 1460 358">梅原 豊、宮崎 良生、福井 景一、杉田 佐紀、本永 善彦、勝山 享、荒川 崇、竹野 和秀、森本真至、武元 朱美 【府民総務課、安心・安全まちづくり推進課、府民力推進課、男女共同参画課、青少年課、消費生活安全センター】</td> </tr> </table>	担当者 【所属名】	梅原 豊、宮崎 良生、福井 景一、杉田 佐紀、本永 善彦、勝山 享、荒川 崇、竹野 和秀、森本真至、武元 朱美 【府民総務課、安心・安全まちづくり推進課、府民力推進課、男女共同参画課、青少年課、消費生活安全センター】
担当者 【所属名】	梅原 豊、宮崎 良生、福井 景一、杉田 佐紀、本永 善彦、勝山 享、荒川 崇、竹野 和秀、森本真至、武元 朱美 【府民総務課、安心・安全まちづくり推進課、府民力推進課、男女共同参画課、青少年課、消費生活安全センター】		
タイトル	部内ファシリテーター(交流を促す人)による取組 ～自由で闊達な府民生活部づくり～		
アピール ポイント	課や担当の枠を越えて職員が交流し、施策に取り組む、新しい価値を生み出す体制づくりが進んでいる		
背景	<p>【「ルールドライブ」から「ミッションドライブ」へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や地方分権、個人の価値の多様化等、社会状況の変化が激しい時代になってきている ➢ 「ルールドライブ」(事前に決められたルールや組織に従い、整然と管理する行政スタイル)では、この社会の変化に対応できない ➢ 「ミッションドライブ」(次々と発生する地域課題に対して様々な資源の活用、多様な主体との協働により、あるべき姿を目指して試行錯誤を繰り返しながら進む行政スタイル)への転換が必要！ <p>→「ミッションドライブ」を実践する「自由で闊達な府民生活部」となることが重要</p>		
改善 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の対話力・連帯感の向上を図るため副課長、若手職員等によるオフサイトミーティングを実施 ・月1回現場訪問ツアーの実施(府民協働防犯ステーション、京都市100人委員会…等) ・部内施策交流会の開催(府民協働防犯ステーションの横断的活用…等) ・部内4ヶ所取り運動の実施(部内の打合せ90分ルール等の提案、業務改善のヒント「事務改善の小わざ」の部内職員への配信、部の小わざ10箇条を投票で決定) ・部と課のミッションマップを作成 ・部のプロジェクトチーム(横断的課題解決チーム)を5チーム結成 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・所属間の壁が低くなった、部内で顔の見える関係ができた ・ワークショップやオフサイトミーティングなどの対話手法が部内に定着した ・府民協働防犯ステーションを核とした高齢者の消費生活被害の未然防止や、青少年の健全育成・非行防止など所属を越えた取組みが予算に反映できた ・現地での声を聞くことで職員のモチベーションアップにつながった ・事務室の整頓等、事務の効率化が進んだ ・部内の横断的課題を解決するためプロジェクトチームが結成できた 		
今後の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・所属をこえた予算獲得、内で顔の見える関係をさらに深めるために、引き続き、現場訪問ツアー、施策交流会、オフサイトミーティング、4ヶ所取り運動を実施 ・横断的課題の解決のためプロジェクトチームによる具体的な議論・施策立案を推進 ・メンバーの固定化を避けるために、さらなる職員の巻き込みを図る 		

自由で闊達な府民生活部づくり

の
た
め
に
ミ
ッ
シ
ョ
ン
マ
ッ
プ
ラ
イ
ブ

職員の現場への
感応力を高める

• 月イチ現場訪問ツアーの実施

職員の連想力を
高める

• 部内施策交流会の開催

環境をつくる

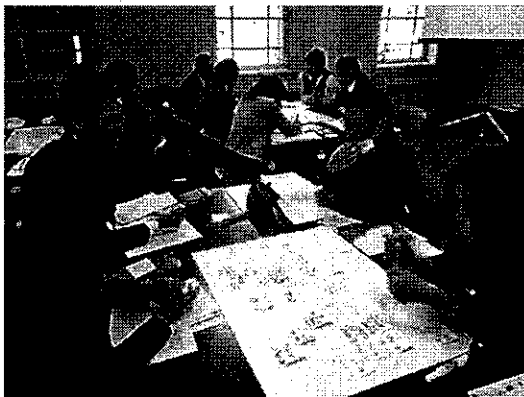
• 部内ムダ取り運動の実施

進む方向を明確
にしておく

• 部と各課のミッションマップをつくる

やってみる

• 部内のタスクチームをつくる



◆ 組織・セクターの壁を越え、みんなの知恵が自由闊達に交流し、新しい価値を生み出す創造する組織に

◆ 部全体をプラットフォームに